

子どもたちの学びを応援！

Osaka city Education Network

OENニュース

OEN(Osaka City Education Network)ニュースでは、OENに関わる各校園の取組や、子どもたち・教職員の学びを応援して下さっているOEN登録者のみなさまが感じた、取組後の感想や学校園と連携する意義、やりがいなどをお届けします。

OENに登録し、教育活動を応援いただいている資生堂ジャパン株式会社様に、学校園と関わる魅力についてインタビューにお応えいただきました。

1

大阪市の学校教育に貢献したいと思い、OEN登録を決めた理由を教えてください。

当社は大阪市健康局様と連携し、市民の健康づくりに“化粧のちから”を活用する取組を進めています。メイクの低年齢化が進む中、子どもたちが正しいスキンケア知識を身につける重要性から、大阪市の学校教育へ協力を開始しました。小中学生の現状を理解し、健やかな成長と自分らしい美しさを支える美容教育に貢献したいと考えました。



2

出前授業を実施してよかったと感じた子どもたちや教員の様子を教えてください。



美容体験を通して正しいスキンケアへの理解が進み、お互いの変化を楽しむ姿が見られました。化粧品が店頭へ届くまでの多様な職種を紹介することで、働くことへの興味につながっていると感じます。多くの質問や「将来この会社で働きたい」という声も寄せられ、子どもたちのプレゼンでは、当社のコメントを真剣に受け止め、「自信をもつことができ、協力の大切さを実感した」という感想が大きな励みとなっています。

3

学校教育に協力することへの、企業としてのメリットを教えてください。

各校で取り組まれている探究学習に触れ、当社でも探究の時間を設けて研究・議論する文化が生まれ、チーム力の向上につながっています。子どもたちからいただいた提案も、今後の活動への活用を検討しています。未来を担う子どもたちの教育に携わる取組を社内で共有することで、企業として地域社会に貢献しているという実感が高まり、社員のモチベーション向上にもつながっています。



4

出前授業等の実施にあたり工夫された点や、ご苦労された点を教えてください。



子どもたちに内容をわかりやすく伝えるため、専門的になりすぎない言葉選びや説明順序に工夫を重ねました。また、授業が退屈にならないよう、体験要素を多く盛り込んだプログラムを構築し、楽しみながら学べる流れになるように心がけています。さらに、学んだことを日常生活で実践できるよう、スキンケアや紫外線対策など身近なテーマを取り上げることで、子どもたちに役立つ内容となるよう努めました。